



翁島小学校だより

第12号 H29. 10. 3 発行 文責: 校長 星 善樹

◎ 野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭 (9/13) ～ 今年から5年生も参加 ～

9月13日(水)、町運動公園陸上競技場において、平成29年度野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭が開催され、6年生と5年生が参加しました。5年生の参加は、今年が初めてです。入場行進では、6年生のW.Kさんが、全小学校の先導を務めました。そのほか、S.Kさんが国旗保持者、S..Nさんがプラカードを、遠藤大生さんが校旗を保持し、堂々とそして整然と行進しました。全員が100m走に出場したほか、ジャベリックボール投げ(本年度よりの新種目)や80mハードル(今年よりハードルが10cm高くなり70cmとなりました。)などそれぞれに1種目選択して出場しました。当日は、たくさんの保護者の皆さんの応援を受け、子ども達は、全員、精いっぱい持てる力を発揮してきました。入賞者は、以下のようです。



種 目	順位	氏 名	記 録
6年女子100m走	第6位	Y.Y さん	15秒9
5年男子100m走	第4位	F.Y さん	15秒7
6年女子走り幅跳び	第6位	W.K さん	3m25cm
5年男子走り幅跳び	第4位	F.Y. さん	3m21cm
6年男子80mハードル	第5位	E.H さん	17秒3
5年男子ジャベリックボール投げ	第2位	S.Rさん	43m28cm
6年女子800m走	第3位	Y.Y さん	2分47秒4
6年女子800m走	第6位	O.R さん	2分56秒1
6年女子走り高跳び	第3位	W.K さん	1m17cm
男子 4×100mリレー	第5位	6年S.Kさん 6年E.Hさん 5年S.Rさん 5年F.Yさん (5年 H.Gさん)	1分04秒8
女子 4×100mリレー	第3位	6年W.Kさん 6年W.Kさん 6年O.Rさん 6年Y.Yさん (6年K.Sさん)	1分02秒5

◎ 秋の全国交通安全運動出動式に全校生で参加しました。

9月21日(木)午後1時30分より「世界のガラス館」駐車場で行われた秋の全国交通安全運動出動式に全校児童で参加しました。3年生～6年生は鼓笛隊として、1,2年生はポンポン隊や安全宣言担当としてそれぞれ大切な役割を持って参加してきました。午前中、普通通りしっかり学習をし、給食を済ませると午後1時に学校を出発。早めに会場に着くと、会場には、パトカーや白バイ、福島県警マスコット「ふくぼうくん」や町のマスコット「ひでよくん」などが待っていました。1,2年生は大喜び、マスコットと触れあっていました。鼓笛演奏の3～6年生は、すこし緊張気味で式の開始を待っていました。子ども達は、この日に向けて昼休みや放課後の時間を使って練習を積んできていました。



式の中で、子供達は、練習の成果を発揮し、精いっぱい演奏したり踊ったり、元気いっぱいに安全宣言を行い、地域の一員として式を盛り上げました。お家の方もたくさん参観してくださいました。子供達は、さぞ嬉しかったことと思います。

最後は、子供達の目の前を白バイやパトカーが特別パトロールに出発していきました。とても貴重なそして、うれしい体験をさせていただきました。



1,2年生もポンポン隊で参加



元気いっぱいの誓いの言葉

◎ この美しいふるさとに誇りを持って……。

2学期に入っても、体験学習をたくさん行っています。9月1日(金)には、6年生がアサザの移植を行いました。9月4日(月)には、3～5年生が、ヒシ回収とごみ拾いを行いました。この活動は、保護者の皆様にもご協力いただき、この日に回収したヒシは1トンにもなりました。そして、9月20日(水)には、3～6年生で湖心観察会、9月22日(金)には6年生がアサザの種取りを行いました。こうした一連の体験学習は、すべて、鬼多見賢様を中心とする「猪苗代の自然を守る会」の皆様にご指導いただいております。これらの中で、湖心観察会は、とても心に残るものでした。この活動は、磐梯観光船株式会社様の全面的なご支援のもと毎年実施しております。3～6年生が、白鳥丸に乗船し、湖心に到着するまでは、鬼多見賢様より猪苗代湖の民話「猪苗代湖の主」を紙芝居でお聞きました。湖心に着くと、全員で水質調査を行いました。継続的な水質改善のための活動が功を奏し、少しずつ水質がきれいになってきていることが確認できました。その後、猪苗代湖の景勝地、赤崎に向かいました。赤崎の大鷹の巣を双眼鏡で観察、エメラルドグリーンの湖水には、思わずため息が出ました。そして、湖水から見る磐梯山の美しさ、船のデッキで感じる心地よい風、たっぷりと「ふるさとのすばらしさ」を感じる体験活動でした。「ふるさと」は、人間としての「根っこ」を作る場所です。「ふるさと」を大切に思い、愛せる子供は、将来、たとどこで生きていくにしても、まっすぐに力強く生きていけると私は思います。「ふるさと」を大切に思い愛する人間に育って欲しい、「ふるさと」で揺るぎない太い根っこを作って欲しいという思いを強くしました。



景勝地「赤崎」